



2021年3月22日

各 位

会 社 名 イ ワ キ 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 CEO 岩 城 慶 太 郎
(コード番号 8095 東証第1部)

問 合 せ 先 常 務 執 行 役 員 業 務 本 部 長 渡 邊 弘 行
兼 務 管 理 部 門 担 当

(TEL.03-3279-0481)

当社子会社における新型コロナウイルス感染症治療薬の 治験薬 GMP 製造受託に関するお知らせ

当社の連結子会社であります岩城製薬株式会社（以下、「岩城製薬」という）は、オンコリスバイオフィーマ株式会社（以下、「オンコリスバイオフィーマ」という）が開発中である新型コロナウイルス感染症治療薬の臨床試験の開始に必要な治験薬原薬の製造法開発と GMP 製造を受託することで基本合意しましたので、お知らせいたします。

記

オンコリスバイオフィーマは、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）治療薬の開発化合物である OBP-2011 に開発対象を絞込んで、新型コロナウイルス感染症治療薬の開発を進めています。この度、岩城製薬は、OBP-2011 の治験薬原薬の GMP 製造の受託に関する委受託契約の締結を行い、治験薬原薬の GMP 製造を行う予定です。

オンコリスバイオフィーマは、創薬プランを開発し、その製造、前臨床試験及び臨床試験をアウトソーシングする、いわゆるファブレス経営による医薬品開発を行っており、これにより研究開発の経費効率化・期間短縮を図っています。「がん及び重症感染症」などの難病を対象とする医薬品候補を大学等の研究機関や企業から導入し、臨床開発の初期段階をアウトソーシングによって推進し、その品目の製品的価値の初期評価である Proof of Concept (POC) を行った上で、大手製薬企業・バイオ企業等にライセンス許諾を行い、契約一時金、開発進捗に応じたマイルストーン収入、上市後のロイヤリティ収入を獲得する収益モデルを構築しています。

イワキグループである岩城製薬のファインケミカル事業は、長年にわたり蓄積された多彩かつ高度な合成技術をもとに原薬および化成品（ファインケミカル製品）の製造・販売を行っております。岩城製薬の高度な技術と品質に高い評価と信頼をいただいております、国内外の大手製薬メーカーのアウトソーシングに対応した受託製造も多く行っており、今後もさらにその技術力と信頼を高め、

FDA の査察をクリアした設備を基にグローバルな原薬メーカーを目指してまいります。

なお、岩城製薬のファインケミカル事業は、2021年6月1日のイワキグループの持株会社化により、CMC 研究開発を行うスペラファーマ株式会社の子会社であるスペラネクサス株式会社へ承継され、ファインケミカル事業として医薬品原薬の CMC 研究開発から製造・販売まで一貫した体制を構築する予定となっております。

以上

【ご参考】

1. 岩城製薬の概要

(1) 名称	岩城製薬株式会社
(2) 所在地	東京都中央区日本橋本町四丁目 8 番 2 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 西久保 吉行
(4) 事業内容	医療用医薬品、一般用医薬品、動物用医薬品、原薬、医薬中間体、食品添加物、化粧品原料、情報記録材料用薬品、染・顔料中間体の製造ならびに販売
(5) 資本金	210 百万円
(6) 設立年月日	1948 年 9 月 24 日

2. オンコリスバイオフィーマの概要

(1) 名称	オンコリスバイオフィーマ株式会社
(2) 所在地	東京都港区虎ノ門 4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 浦田 泰生
(4) 事業内容	腫瘍殺傷ウイルスの研究・開発・製造・販売・輸出入 医薬品及び癌検査薬の研究・開発・製造・販売・輸出入
(5) 資本金	7,436 百万円
(6) 設立年月日	2004 年 3 月 18 日